

OISTAT（劇場芸術国際組織）の概要と活動

1. 概要

OISTAT (International Organization of Scenographer, Theatre

Architects and Technicians) はその名称の示す通り、舞台芸術に係る芸術家及び技術者の国際的組織で、1968年米国、カナダ、ドイツ等 8カ国が既存の劇場技術組織を統合して国際組織として設立され、本部をチェコのプラハに置き UNESCO の後援を得て活動を開始した。

活動方針を憲章に次の通り定めている。

- 1) 舞台芸術を支える舞台美術、建築技術並びに関連分野に関する知識や慣行を国際的に支援する基盤の確立と維持。
- 2) アイディアや技術の交換と舞台芸術を支える全ての職業における国際協同作業の推進とこれに従事する人達に生涯教育の奨励。
- 3) 舞台芸術分野の他の組織や機関との交流。
- 4) 同分野における人、文書、作品に対する支援。
- 5) 上記の目的に添った出版物の発行。

各国に OISTAT National Center を設け上記の活動を行っている。現在のセンターは 31カ国 32センターである。

2001年には個人会員を、2005年から賛助会員を募り活動をさらに拡大、充実させている。現在の会員は個人 40名、賛助 12団体。

OISTAT の本部は 1993年までプラハ、2005年までアムステルダム、2006年から台北に移した。いずれも政府の支援を得ている。

2. 活動

OISTAT は次の通りの組織を設けその活動を行っている。

1) 総会

各国センター及び個人会員代表で4年に一回開催し、会長及び執行委員会委員の選挙並びに重要事項の決定。

2) 施行委員会、統括委員会

総会の決定した事項の執行並びに事務局の運営。

3) 委員会

次の委員会を設け実質的な活動を行っている。各2年に一回開催。

- ・舞台美術委員会
- ・劇場建築委員会
- ・技術委員会
- ・教育広報委員会

・歴史・理論委員会

・広報委員会

4) 舞台美術委員会の活動

舞台美術、衣裳、照明、音響分野における、レクチャー、セミナー、ワークショップ、等その他デザインコンペを行い、会員のみならず学生他若い人達も招き広く交流を行う。

3. OISTAT 日本センター

1976年に4団体による日本センター設立。1990年にJATET（劇場演出空間技術協会）の設立と共に、日本センターは同協会の国際活動を担う部門として協同活動を行うこととなり今日に至る。

この間、OISTAT本部の総会、執行委員会並びに各委員会に当センター代表を派遣し、又外国人研修生の受け入れなど活動を行ってきた。

ことに2000年以降、海外で開催の各委員会出席26回、日本での本部委員会開催3回と密接な交流を行うとともに共にOISTATの発展に大きな貢献をしている。

現在の日本センター会員は法人会員19社、個人会員21名である。また会長は、歴代我が国における舞台美術家の第一人者がつとめ、現会長は高田 一郎氏である。

今後は、OISTAT本部が2006年に台北に移ったこともあり、日本、台湾、韓国を中心として、アジア地域での活動の強化が求められている。

主要な活動は；

- 1) OISTAT本部開催の展示会、シンポジウム等の参加
- 2) 本部主催の展示会、シンポジウム等の日本での開催
- 3) 舞台建築及び舞台美術等の国際的デザインコンペに対する国内の舞台芸術者・技術者の参加支援
- 4) 日本で開催する舞台照明の国際的展示会の後援と支援
- 5) 日本舞台美術家協会等の舞台芸術、技術関連団体との連携及び支援

などであり、ことに近年は国際化を迎え演劇界の国際交流が広がる中で国際的視野に立った人材育成の支援を行っている。

以上